

**第 17 回「地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン」を開催！**  
**エキからエコ。**  
**地球環境にやさしい電車に乗って。**  
**大自然の色が織りなすアート。**

公益社団法人日本鉄道広告協会（会長：新井良亮、東京都渋谷区）は、17 回目となる「地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン」を今年も実施いたします。

8 月の鉄道広告を鮮やかに彩るこのキャンペーンは、ご協力をいただいた全国の JR、私鉄、地下鉄 36 社局の駅及び車両内のポスター枠を利用し、ポスターとデジタルサイネージで展開するものです。

テーマカラー「茜色で太陽を」「深緑色で森を」「群青色で海を」「黄土色で大地を」の自然を代表する 4 色で構成されたポスターのビジュアルとテーマポスターのメッセージは、このキャンペーンにご賛同くださる現代を代表する著名芸術家及びクリエイターの方々より今年もボランティアで提供いただいています。

閉塞感に包まれていたここ数年間でしたが、徐々に駅や電車に以前の活気が戻ってまいりました。日本では 2050 年度のカーボンニュートラルの実現に向けて、官民一体となって施策に取り組んでいます。鉄道は、単位輸送量あたりの CO2 の排出量は少なく、地球環境にやさしい交通手段ですので、厳しい夏の暑さが続いています、移動する鉄道の中で少し涼んで、目的地に向かってください。

ビジュアルにこめたメッセージの詳細などは、JAFRA ホームページの特設サイトでご覧いただけます。「エキからエコ」、「エキからアート」として、鉄道各社局の環境対策への取り組み、今年のキャンペーンでのビジュアルの様子、これまでの作品を閲覧できるアーカイブス駅や街中で目にするのできるパブリックアート、交通に関する博物館やアクティビティなども紹介しています。こちらへも、ぜひアクセスください。

<https://www.j-jafra.jp/eco/index.html>

エキからエコ。  
やさしい旅を、列車に乗って。

駅にたくさんの人たちが戻ってきました。夏の楽しみ、鉄道の旅のスタート。  
お気に入りの列車、車窓に揺れる風景、駅弁のわくわく。  
しかも、列車の旅ならCO2排出量が少ないので、地球の環境にもやさしいのです。

地球温暖化に警鐘を鳴らすJAFRAのキャンペーン。  
森の深緑色、海の群青色、大地の黄土色、太陽の茜色。大自然の色が織りなす環境アート。  
8月の駅、ちょっと立ち止まって見つけてみてください。

宮田亮平、大神英敏、手塚雄二、日比野克彦

**JAFRA**  
Japan Association for Rail Advertising  
公益社団法人 日本鉄道広告協会  
<https://j-jafra.jp>  
後援：環境省 国土交通省

<キャンペーンの概要>

1. タイトル 第17回地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン
2. 全体テーマ 「エキからエコ。地球環境にやさしい電車に乗って。  
大自然の色が織りなすアート。」
3. ポスターテーマ 美しい環境と多様な生物
4. 実施期間 2023年8月1日(火)～8月31日(木)
5. ポスター種類 駅ポスター B0ポスター×4種類  
B1ポスター×5種類  
車内ポスターB3ポスター×4種類  
駅デジタルサイネージ
6. 制作協力  
ビジュアル提供：  
宮田 亮平 金工家 東京藝術大学名誉教授「シュプリングン」  
大津 英敏 洋画家 多摩美術大学名誉教授「令和の虎と富士」  
手塚 雄二 日本画家 東京藝術大学名誉教授「麗人／Beauty」  
日比野 克彦 アーチスト 東京藝術大学長「LIFE PARTICLES」  
アートディレクター：蝦名 龍郎  
コピーライター：マキプロ 根岸 礼子
7. 主催 公益社団法人日本鉄道広告協会
8. 協賛 一般財団法人日本宝くじ協会
9. 後援 環境省、国土交通省
10. 協力 Osaka Metro、小田急電鉄(株)、九州旅客鉄道(株)、京都市交通局、近畿日本鉄道(株)、  
京王電鉄(株)、京成電鉄(株)、京阪電気鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、神戸市交通局、  
埼玉高速鉄道(株)、相模鉄道(株)、札幌市交通局、山陽電気鉄道(株)、四国旅客鉄道(株)、  
首都圏新都市鉄道(株)、西武鉄道(株)、東海旅客鉄道(株)、東急電鉄(株)、東京地下鉄(株)、  
東京都交通局、東京モノレール(株)、東京臨海高速鉄道(株)、東武鉄道(株)、東葉高速鉄道(株)、  
名古屋市交通局、名古屋鉄道(株)、南海電気鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、  
阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)、北海道旅客鉄道(株)、横浜高速鉄道(株)、  
横浜市交通局

(36社局、五十音順)

◎本件に関するお問い合わせは、下記へお願いします。

公益社団法人日本鉄道広告協会 キャンペーン事務局

Tel:03-5791-1808 Fax:03-3443-1616

Mail:information@j-jafra.jp

URL:j-jafra.jp/

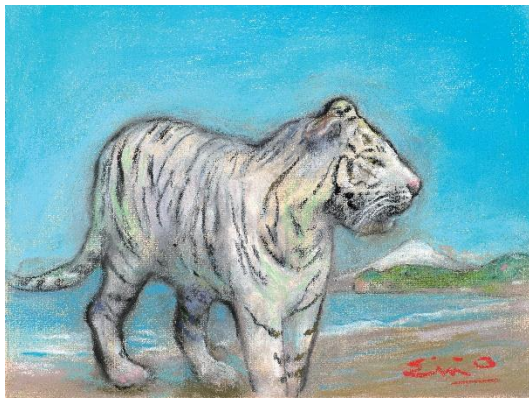
宮田 亮平 「シュプリンゲン」



日比野 克彦 「LIFE PARTICLES」



大津 英敏 「令和の虎と富士」



手塚 雄二 「麗人／Beauty」



エキからエコ。

やさしい旅を、列車に乗って。

駅にたくさんの人たちが戻ってきました。

夏の楽しみ。鉄道の旅のスタート。

お気に入りの列車、車窓に流れる絶景、

駅弁のわくわく。しかも、

列車の旅なら CO2 排出量が少ないので、

地球の環境にもやさしいのです。

地球温暖化に警鐘を鳴らす JAFRA のキャンペーン。  
森の深緑色、海の群青色、大地の黄土色、太陽の茜色。

大自然の色が織りなす環境アート。

8月の駅、ちょっと立ち止まって

見つめてみてください。



みやた りょうへい  
**宮田 亮平(金工家)**  
「シュプリングン」



**メッセージ**

イルカは空にもいる。  
天の川に沿うようにイルカ座のイルカたちが泳いでいる。  
夏の夜は空を見上げて。



撮影: 鈴木理策

- 1945年 新潟県佐渡に生まれる
  - 1972年 東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専門課程 鍛金専攻 修了
  - 1990年 文部省在外研究員(ドイツ)、個展(ドイツ)
  - 1997年 東京藝術大学 教授
  - 1999年 「宮田 亮平 金工展」ギャラリー日鉱(東京)
  - 2002年 「宮田 亮平 金工展」伊勢丹(新潟)、銀座和光(東京)
  - 2004年 東京藝術大学 副学長・理事  
「宮田 亮平 金工展」三越(日本橋本店)
  - 2005年 東京藝術大学 学長
  - 2007年 第46回「日本現代工芸美術展」内閣総理大臣賞 受賞 「宮田 亮平 金工展」三越(日本橋本店・新潟店)
  - 2008年 「宮田 亮平・琴 親子展」雪梁舎美術館(新潟)  
「宮田 亮平 金工展」高島屋(日本橋店)
  - 2009年 第41回「日展」内閣総理大臣賞 受賞
  - 2010年 「宮田 亮平 展」三越(日本橋本店・仙台店)
  - 2011年 「宮田 亮平 展」大丸松坂屋(松坂屋名古屋店・大丸大阪心斎橋店)
  - 2012年 第68回 日本芸術院賞 受賞
  - 2013年 「宮田 亮平展-海へ-」高島屋(日本橋店・横浜店・大阪店・ジェイアール名古屋店)
  - 2014年 「宮田 亮平展 -海へ-」  
(クリエイションの未来展:第2回)LIXIL ギャラリー(東京)
  - 2015年 文化庁長官に就任
  - 2022年 日展理事長就任、国立工芸館の顧問
  - 2023年 日本芸術院会員に選ばれる
- 現在** 日本芸術院会員、日展理事長、現代工芸美術家協会 常務理事、東京藝術大学名誉教授 顧問、国立工芸館 顧問、文部科学省 参与、長岡造形大学客員教授 他  
オフィシャルウェブサイト <http://r-miyata.com/>

おおつ えいびん  
**大津 英敏(洋画家)**  
**「令和の虎と富士」**



**メッセージ**

白虎は伝説上の神獣、四神のひとつで、西方の守護するもの。  
 海岸づたいに見える富士山の姿、そこには、神の使いの白い虎がいて心躍らせる。  
 これまでも、これからも、西の空から見守っている。



- 1943年 熊本市に生まれ、少年時代を福岡県大牟田市で過ごす
- 1969年 東京藝術大学大学院を終了。(山口薫教室)
- 1971年 第39回独立展で独立賞受賞。72年同賞受賞
- 1973年 独立美術協会会員となる
- 1979年 家族と共に渡仏、81年帰国
- 1983年 第26回安井賞展で安井賞受賞
- 1988年 「しづもれる愛の詩」大津英敏展(東京・大津・福岡・大牟田・札幌)  
 日本経済新聞社、北海道新聞社、中日新聞社、西日本新聞社主催
- 1993年 第11回宮本三郎記念賞受賞、受賞記念展・朝日新聞社主催  
 三越(日本橋本店)
- 1996年 大津英敏展「筆・夢・愛」高島屋(東京・京都・大阪・横浜)  
 新聞連載小説 黒井千次著「夢時計」の挿画を担当
- 2000年 東京地下鉄南北線白金台駅にステンドグラスを制作
- 2003年 新聞連載小説 辻井喬著「終わりからの旅」の挿画を担当
- 2005年 第28回損保ジャパン東郷青児美術館大賞受賞
- 2006年 東郷青児美術館大賞受賞記念展「伝えたい気持ち」
- 2007年 第63回日本藝術院賞受賞。日本芸術院会員就任
- 2008年 東京地下鉄副都心線渋谷駅にステンドグラスを制作。  
 「風景画への道」高島屋(東京・大阪・京都・横浜・名古屋・高崎・米子・岡山)
- 2009年 新聞連載小説 堺屋太一著「三人の二代目」の挿画を担当、産経新聞と全国37紙に連載  
 「新フランス物語」大津英敏展～パリ燦燦～ 三越(日本橋本店・福岡店)
- 2010年 新聞連載小説、堺屋太一著「三人の二代目」挿絵展を開催。高島屋(東京、米子、岡山、大阪、京都、岐阜、高崎、名古屋、横浜)
- 2011年 10月パリ吉井ギャラリーで「セーヌ河の朝陽」大津英敏展を開催
- 2012年 大津英敏展「フランス・オランダ紀行」三越(東京・大阪・福岡)
- 2014年 多摩美術大学教授退任記念「大津英敏展」開催(多摩美術大学美術館)
- 2019年 大津英敏展「風景画への道'19」三越(東京・名古屋・福岡)
- 2021年9月 パステル画の小宇宙 大津英敏展(日本橋高島屋)
- 2022年2月 大津英敏展「風景画への道'22」三越(東京・名古屋・福岡)
- 2023年11月 「パステル画の小宇宙」大津英敏展 高島屋(東京・大阪・横浜)
- 現在 日本藝術院会員・独立美術協会会員・多摩美術大学名誉教授

てづか ゆうじ  
**手塚 雄二(日本画家)**  
「麗人／Beauty」



**メッセージ**  
何処に生まれ  
何処に行くのか



撮影: 平間至

- 1953年 神奈川県に生まれる
- 1976年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻入学
- 1978年 東京藝術大学・安宅賞受賞
- 1979年 第34回 春の院展に「歌占い」  
第64回 院展に「午後」初入選(以後毎年出品)
- 1980年 東京藝術大学美術学部卒業制作  
「夢模様」がサロン・ド・プランタン賞受賞  
東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
- 1982年 東京藝術大学大学院修了制作の「迷宮」が台東区長賞受賞  
東京藝術大学大学院美術研究科(日本画)修士課程修了
- 1983年 日本美術院 院友推挙
- 1986年 第71回院展に「泉」を出品、奨励賞受賞(同 87,88年)
- 1987年 第42回春の院展に「洗」を出品、奨励賞受賞(同 88,90,92年)  
1988年第22回 現代日本美術選抜展(文化庁主催)に「陽黄」を出品  
(同 90,91,94年)
- 1989年 第44回 春の院展に「慕」を出品、春季展賞受賞(同 91年)  
第74回 院展に「潤」を出品 日本美術院賞・大観賞受賞(同 90,91年)  
日本美術院特待推挙
- 1990年 前田青邨賞受賞(日本美術院奨学金)
- 1992年 日本美術院招待推挙 金峯山寺(奈良・吉野)本坊障壁画を制作  
日本美術院 同人推挙
- 1993年 第78回 院展に「落日」を出品、文化庁買い上げ
- 1994年 第16回 日本秀作美術展に「落日」を出品(同 02,03年)
- 1997年 第82回 院展に「海音」を出品、文部大臣賞受賞  
個展(セレネ美術館)

- 1998年 ー日本画壇の俊英 限りなき美への挑戦ー手塚雄二展開催 主催＝朝日新聞社(名古屋・銀座松坂屋)  
ー月のしらべー手塚雄二新作展(名古屋・銀座松坂屋)  
画集「眩景」刊行(小学館)
- 2000年 「手塚雄二屏風絵画展」開催(福井県立美術館、京都・大阪・名古屋高島屋)  
第85回 院展に「風雲風雷」を出品、内閣総理大臣賞受賞
- 2001年 「天地風雷 手塚雄二展」開催(日本橋三越本店、大阪・福岡三越)
- 2002年 日経日本画大賞展入賞
- 2004年 手塚雄二 新作展(松坂屋名古屋店・銀座店・静岡店)
- 2006年 「手塚雄二 花月草星展」(日本経済新聞社主催:高島屋／日本橋、京都、横浜、ジェイアール名古屋、  
なんば)  
画集「夜想」刊行(小学館)
- 2008年 「光陰 手塚雄二日本画展」(日本橋三越、名古屋栄三越、松山三越)  
「アジアコンテンポラリーアートフェア 2008」出品(ニューヨーク)
- 2010年 「一瞬と永遠のはざままで」10月23日～11月28日 そごう美術館(横浜)
- 2011年 「一瞬と永遠のはざままで」1月2日～1月23日 松坂屋美術館(名古屋)
- 2014年～2015年1月  
「憬色ー手塚雄二展」(日本橋三越本店、仙台三越、福岡三越)
- 2017年 「Imagined Landscape」(GINZA SIX、名古屋松坂屋)
- 2019年 「手塚雄二展 光を聴き 風を視る」(日本橋高島屋、大阪高島屋、京都高島屋、福井県立美術館)  
「退任記念 手塚雄二展」10月10日～10月24日 東京藝術大学大学美術館
- 2024年 2月16日～ 回顧展開催予定

師 平山郁夫  
現在 日本美術院同人・理事、東京藝術大学名誉教授  
福井県立美術館 特別館長  
オフィシャルウェブサイト [www.tezukayuji.jp](http://www.tezukayuji.jp)



ひびの かつひこ  
日比野 克彦(アーティスト)  
「LIFE PARTICLES」



**メッセージ**

宇宙があるから、地球がある。  
地球があるから、命がある。  
命があるから、宇宙がある。  
宇宙も地球も命も生命素粒子。



日比野 克彦(アーティスト)

Katsuhiko HIBINO

■アーティスト、  
東京藝術大学長

1958年 岐阜県生まれ。  
1982年 日本グラフィック展大賞受賞。  
1984年 東京藝術大学大学院修了。  
1995年 ヴェネチア・ビエンナーレ出品  
2016年 平成27年度芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)受賞。  
近年は各地でその地域の特性を生かしたアートプロジェクトを展開する。

主なアートプロジェクト:

「TURN」

「明後日新聞社文化事業部／明後日朝顔」

「海底探査船美術館」

「アジア代表日本」等。

主な役職:

岐阜県美術館長、熊本市現代美術館長、東京芸術文化評議会評議員、  
日本サッカー協会社会貢献委員長